

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち  
教育の小径No.95  
9月号

2016 September

今月のことば

## 灯台下暗し

身近な状況にはかえって気づきにくいことのとえです。灯台とは火をとます台で、昔室内で使った照明器具のことです。岬に立っている航路標識の灯台ではありません。



国士舘大学教授  
北 俊夫先生

## 「教科書を」か、「教科書で」か

- 教科書は主要な教材です。教師には、その使用義務が法律によって課せられています。
- 教科書はあくまでもひとつの教材です。「教科書で」何を学ばせるのかを明確にして、教科書の活用方法を工夫することが大切です。

今月の記念日

## 宇宙の日(9月12日)

平成4年(1992年)のこの日に、毛利衛さんがアメリカのスペースシャトル・エンデバーで宇宙に飛び立ちました。この年、当時の科学技術庁と宇宙科学研究所が制定しました。

## 教科書に対する特別な心情

わが国には教科書を特別なものとして受けとめる風習があります。いわゆる教科書神話です。教科書に対する次のような認識をいったものです。

いまではあまり聞かれなくなりましたが、かつて、畳や床の上に置かれた教科書をまたいでいくと、厳しく注意されたものです。教科書に文字などを書き込んだり、折り曲げたりすることも許されませんでした。また、教科書がまだ無償給与されていなかったころには、兄や姉が使ったあと、その教科書を弟や妹にゆずることも行われました。それだけ、教科書は勉強するための大事なものとして大切に扱われていたということです。

また、教科書が金科玉条のように受けとめられてきた経緯もあります。そのため、教科書の内容を最優先にそのまま子どもたちに伝達する授業が多く見られました。こうした授業では、教師も子どもも教科書を絶対のものとして受けとめ、教科書に依存していたといえます。そのため、子どもたちは教科書に書かれていることを覚えるという姿勢でした。勢い「教科書を」教え込む授業になっていました。

最近では、子どもの主体性を尊重

した授業を進める、問題解決的な学習や体験的な学習を重視する、地域の素材を教材化するなどといわれるようになり、教科書の活用方法に少しずつ変化がみられるようになってきました。子どもの教科書に対する受けとめも変わってきました。

## 教材としての教科書

「教科書教材」といわれるように、教科書は授業における教材のひとつです。授業では、教科書以外にも、副読本や資料集などの図書教材やDVDなどの視聴覚教材、現物や本物など実物教材などが使われています。

これらのなかでも、教科書は学校教育の共通性や標準性を確保するために主たる教材として位置づけられています。教師には学校教育法第34条によって、教科書に対して使用義務が課せられています。

「教科書の内容を教えるのか、教科書で教えるのか」ということがこれまでたびたび話題になりました。多くの見解は「教科書教材」という名称のとおり、「教科書で」教えるという見方が一般的です。もし「教科書を」教えるにとらえると、使用する教科書によって子どもたちが学ぶ内容が違ってしまふことになってしまいます。

教科書を教材として活用するとき、その使用方法を教師が習得することはもとより、子どもたちにも身につけさせる必要があります。

大きくは、内容に関することと方法に関することがあります。前者に関しては、例えば教科書の事例や題材で基本となる知識や技能を学び、それをほかの教材に応用・発展させることです。また後者については、教科書で問題の解き方や調べ方などの学び方、見方や考え方を学び、それらを自らの学習に活用することが考えられます。

近年、教科書の内容(掲載されている教材や資料など)が豊富になっています。そのため、内容を精選・重点化して活用することが求められるようになってきました。あれもこれも取り上げると、指導時間が足りなくなってしまうからです。隅から隅まで扱っていると子どもの学習活動が薄くなり、学習に深まりがなくなります。

学校で実施されている校内での研修内容に、教科書の効果的な活用の仕方を位置づけ、授業改善のきっかけにはどうでしょうか。



伝統行事と食べ物

私たちの日常生活には通常とは違った、晴れ（ハレ）の日といわれる特別な日があります。普段のことは曇（ケ）といわれます。ハレの日と聞くと、七五三や入学、卒業、結婚など人生の節目に当たる儀礼を連想しますが、もう一つ毎年同じ時期に行われる年中行事に当たる日もハレの日だそうです。ハレの日には、その日にまつわるしきたりがあり、食べ物があります。これは日本古来の伝統文化です。

1月の正月にはおせち料理、3月の桃の節句（雛の節供ともいいます）にはよもぎ餅や白酒、5月の端午にはちまきや柏餅、7月の七夕には索餅という唐菓子、11月の七五三には千歳飴や赤飯、そして12月の大晦日には年越しそばを食べます。年中行事にはそれぞれにちなんだ伝統的な食べ物があります。その季節にふさわしい食材が使われます。旬の食材は健康にも良かったのでしょうか。

今年は、9月15日が仲秋（中秋）の名月です。お月見が行われてきました。これは秋の収穫期を迎え、豊作を祈願するものです。この日にはススキの穂を飾り、月見団子や里芋を月に供えます。古来から引き継がれてきた伝統行事です。この時期には各地で「観月会」や「月見の会」が開かれます。

日頃、月をじっくり眺めることが少なくなりましたが、お月見をしながら、日本古来の行事や食文化に触れてはどうでしょうか。伝統のよさに気づく機会になるかもしれません。



教育時事 **教育の動向**

デジタル教科書

「デジタル教科書」とは、タブレット型の情報端末に教科書の内容を取り込んだもので、子どもたちが使用するものです。教科書会社が市販し、主に教師が電子黒板などで使用する「デジタル教科書」とは違います。

文部科学省は、子どもが個別に使用する「デジタル教科書」を2020年度（平成32年度）から導入する方針を示しました。平成32年度は、小学校において次期学習指導要領による授業が完全実施される年です。

当面は、これまでの「紙」による教科書を基本に「デジタル」による教科

書を副教材として併用するとしています。両者の教材を同じにすることで、文部科学省による検定を「紙」による教科書だけにするようです。

「デジタル教科書」の導入に対しては、例えば、どのような学習効果が期待できるのか、子どもの健康に悪い影響はないのか、将来的には「紙」の教科書はなくなるのか、など慎重な意見もあります。また、「デジタル教科書」を併用して使用するとき、文部科学省は無償給与はしないとしています。費用の負担は教育委員会がするのか、保護者なのか、今後の課題です。

学校教育の情報化は一層進行することになります。今後、「デジタル教科書」をどう有効に活用し、学習成果をどう高めていくかが課題になります。

コラム **ものの見方・考え方とは何か(23)**

「しか」か「も」か

いきなり具体例から説明します。原稿の締め切り日まで3日あります。3日間という時間もここでいう見たり考えたりする対象です。3日間という時間をどう見るかということです。

締め切りまで「もう3日しかない」と受けとめると、なぜか気持ちが追い詰められ、焦ってきます。「大変だ。書き終えられるだろうか」と不安になることもあります。一方、「まだ3日もある」ととらえると、どこか心にゆとりが出てきます。「どうかなるだろう」という気持ちがかえってよい結果を生み出すこともあります。

同じ3日間ですが、これを「しか」と受けとめるか、「も」と受けとめるかの違いによって、自分だけでなく周囲の人の心を暗くしたり、逆に明るく

もしたりします。前者は悲観的（ネガティブ）、後者は楽観的（ポジティブ）と言い換えてもよいでしょう。

3日間という時間に違いがあるわけではないのに、「しか」と「も」という受けとめ方の違いによって、ものの見方や考え方に大きな開きが生まれます。それはその後の対応の仕方に影響を及ぼします。対応が大きく変わるのは心のもちようが変わるからです。

私たちは「書類の提出日まであと3日しかない」「財布のなかのお金が5千円しか残っていない」「難しい算数の問題ができた子どもは半分しかいなかった」など、ややもすると物事に対して「～しかない」といったとらえ方をしがちです。「しか」といった見方は心を内向きにします。「しか」ではなく「も」でもものを見ることは積極的に生きることにつながるようです。

INFORMATION

北俊夫先生の著書

定価：各950円+税

最新刊

だれでもできる **社会科 学習問題 づくりの マネジメント**



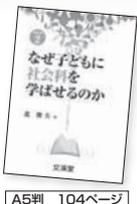
A5判 104ページ

こんなときどうする! **学級担任の 危機対応 マニュアル**



A5判 96ページ

なぜ子どもに **社会科を 学ばせるのか**



A5判 104ページ

言語活動は **授業をどう変えるか** 一考え方と実践のヒント



A5判 112ページ

編集後記

子どもの音読の宿題に付き合うことがあります。「ごんぎつね」や「一つの花」などに再会すると、自分が小学生のころに触れたのとはまた別の顔を見せてくれて、興味深く感じます。音読の点検をほったらかして、自分が読み浸ってしまいます。

(F記)



企画・編集：ぶんけい教育研究所  
発行：株式会社文溪堂  
発行日：2016年9月1日